

九中図書館だより

文京区立第九中学校図書館

令和4年12月 第8号

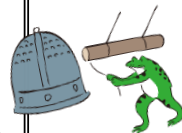
学校図書館支援員 蛭田康寿子



1年の最後の月である12月、師走(しわす)になりました。
「師走」の語源は諸説ありますが、師(ここではお寺のお坊さんのことを指します)に年末に家まで来てもらって、お経を唱えてもらう風習からきているそうです。年末が近づくと、あちこちの家から依頼がくるお坊さんは、東西を行ったり来たりと大忙しになり、その忙しさの様子を表しているそうです。



「師走」には他の説もたくさんあります。皆さん、ぜひ図書館の本で調べてみてくださいね。



九中図書館 利用案内

開館日 月曜日 ~ 金曜日
開館時間 昼休み 13:00~13:20
放課後 学活終了後~16:30
貸出冊数 2冊まで 貸出期間 2週間まで

支援員在室曜日は

月・火・木・金

在室時間は

11:30~16:30

※行事や授業によって

変更になることがあります

冬休み前まで

3冊! まで



図書館からのオススメ本

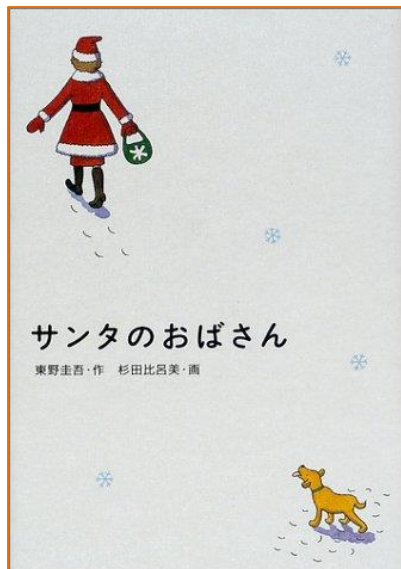


『サンタのおばさん』 東野圭吾著

文藝春秋【913 ヒ】

サンタ協会の新しい会長を決めるために、世界各国からサンタが集合。新会長に決まったのは、現会長と入れ替りに入会したシングルマザーのジェシカだった！他のサンタから異論が上がる中、「なぜサンタが男性じゃないといけないのか」という議論になり…。

ジェンダー問題や人種差別などにも触れられ、20年前に書かれたとは思えない、新鮮なサンタクロスのお話です。

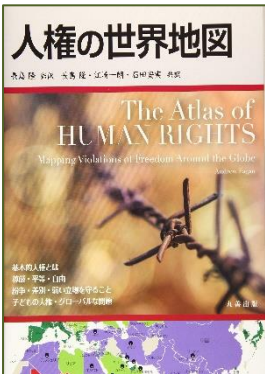


人権週間

人権とは、だれもが生まれながらに持っている、人間が人間らしく生きていくための権利であり、人類が歴史の中で築いてきた財産です（東京都総務局人権部より引用）。

法務省では、12月4日～12月10日を「人権週間」と定め、その期間中各機関団体と協力し、啓発活動を展開しています。

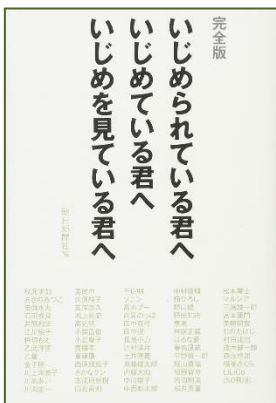
皆さんもこの機会に、人権についての本を読んでみてください。



『人権の世界地図』【31フ】
長嶋隆 監訳/丸善出版
各国の人権問題、国家間の人権の不平等世界的な人権侵害等、人権問題をさまざまな視点から地図上で解説します。



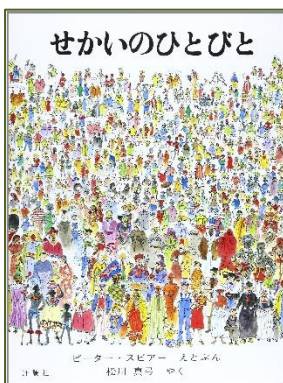
『世界中の子どもたちの権利をまもる30の方法』【36コ】合同出版
認定 NPO 法人国際子ども権利センター編
世界の子供達、今直面する問題を解決する30のアプローチ。



『完全版 いじめられている君へ』【37イ】
朝日新聞社 編/朝日新聞社
64人の大人たちからのメッセージ。読んで考えてみてください。



『世界でいちばん素敵なSDGsの教室』【33セ】
小林隆 監修/三オブックス
SDGsは国連の決議ですが、私たちの生活にも直結しています。持続可能な未来のために、小さなことから始めてみましょう。



『せかいのひとびと』【30ス】評論社
ピーター・スピーアー著
世界にはさまざまな民族、風習、言語、文化があります。それぞれ全てが素晴らしいことを伝える絵本です。



『平等ってなんだろう?』【31サ】
齋藤純一著/平凡社
日常のモヤモヤした疑問から、教育や格差問題について、社会における「平等」の大切さを考えてみましょう。